

京 都 大 学

國文學論叢

第 48 号



枕詞「瑞垣の」と

被枕「久し」に関する一考察 ……………

横内 亮太 (一)

能「籠太鼓」における狂いの手法 ……………

奥田 茉莉子 (二七)

——物狂の「思ひ」は如何にして表現されたか——

「三河記」作品群——諸本の分類について …… 大山 恵利奈 (四七)

「字音語」についての覚書 …………… 佐野 宏 (七九)

日本現存『類合』及び関連資料の考察(一) …… 楊 慧京 (一〇五)

令和四年度 京都大学国文学会 研究発表要旨 …………… (一三三)



京都大学大学院文学研究科国語学国文学研究室
令和 5 年 (2023) 4 月

前々号(第46号) 目次

ちさとのほかまでながめたる

——『徒然草』百三十七段——

宮武 衛

『新撰字鏡』万葉仮名攷

鈴木 裕也

平仮名の表記法についての一考察

——『古今和歌集』を題材として——

渡辺 悠里子

前号(第47号) 目次

「柳のまゆひらく」小考

——『蜻蛉日記』における

侍の歌の解釈について——

張 陵

『枕草子』と漢文学

——附、『源氏物語』の「薄雲」について——

大谷 雅夫

安部公房とエドガー・アラン・ポー(二)

——「異端者の告発」「どれい狩り」

「第四間氷期」をめぐって——

糸賀 寛

『言海』における

『増補雅言集覧』利用法について

——をしね(小稲)の用例——

河瀬 真弥

投稿規定

- 一、本誌は、投稿資格を設けることなく、国語学・国文学に関する論文を広く募集します。
- 一、投稿論文は四百字詰原稿用紙にして四十枚（本誌の頁数で十二頁）以内とし、これを超過した場合、実費をご負担いただきます。
- 一、原稿の採否は査読委員会が決定いたします。採否の問合せにはお答えしないことを原則といたします。
- 一、掲載された論文は原則として京都大学学術情報リポジトリにその全文を公開します。
- 一、原稿の締切は毎年二度、七月・一月の末日とします。
- 一、ワープロを使用した場合は、ソフト名（機種）・四百字詰原稿用紙に換算した原稿枚数を明示の上、電子媒体と印字した原稿を同封してお送りください。電子媒体と印字した原稿は返却いたしません。
- 一、四百字詰原稿用紙二枚程度の要約文を添付してください。
- 一、校正は原則として再校までとします。
- 一、論文掲載の場合は本誌三部を贈呈いたします。それ以上の本誌・抜刷については実費を申し受けます。
- 一、宛先は以下の通りとします。
〒六〇六―八五〇―一 京都市左京区吉田本町
京都大学大学院文学研究科国語学国文学研究室内「國文學論叢」編集部

令和五年四月一日 印刷

令和五年四月一日 発行

京都大学國文學論叢 第四八号

編集発行者

京都大学大学院文学研究科

国語学国文学研究室内

「國文學論叢」編集部

〒六〇六―八五〇―一

京都市左京区吉田本町

電話 〇七五―七五三―二八二四

印刷者

京都市南区吉祥院池ノ内町10

明文舎印刷株式会社

表紙題字『易林本節用集』より

（京都大学文学部蔵慶長板）